

■令和7年度空き家対策モデル事業「空き家のわ」 ネットワーク井笠エリアミーティングに参加しました。



◇令和8年1月19日(月)に「地域で広がる空き家の使い方3選」空き家活用フォーラム2025のゲストとして登壇してきました。岡山県17市町村から100名以上の方が参加されて、グループでの情報交換、こうふのたよりの事例紹介、地域での代表的な活用策等、それぞれの意見をまとめて共通課題の共有を行いました。

◇今回は岡山県内の中でも、特に地域での空き家対策の取り組みも進んでいる「井笠エリア」周辺の皆さまが参加されました。これからの地域の在り方から空き家をどう捉え、そこに暮らす人々が安心して住み続けられる環境をどのように整えていくか。それぞれの取り組みを実践している地域から活動報告が行われました。



◇地域での代表的な活性化策である「居場所や地域の活動の拠点」「お試し住宅」「サブリース」の3つの方策を「くにとうの御船を守る会・浅口市」「NPO法人こうふのたより・江府町」「いんしゅう鹿野まちづくり協議会・鹿野町」の順番で事例紹介しました。



空き家情報を得る方法と集落との関わりを自治会長や区長だけでなく、住民みんなと持つためには時間が必要だとグループトークで共通課題であると認識しました。

井笠エリアミーティング事務局でNPO法人みんなの集落研究所・三村所長から「来年度の企画で江府町を訪ねるバスツアーを予定して、こうふのたよりと役場の方の話を聞きたい」と要望がありました。

